

安全衛生マネジメントシステムの推進

当社グループでは、建設業労働安全衛生マネジメントシステム (COHSMS) の適切な運用を図っています。

2016年度は2年連続となる死亡、重篤災害ゼロ、事故・災害件数は、24件(前期比96%)と前期に比べ若干減少しました。内訳では、労働災害が11件(同73%)、第三者損傷が4件(同100%)、交通事故が7件(同175%)、その他2件(同100%)となりました。

要因分析すると、高齢者の身体機能低下、慣れ・過信からの安全意識低下、若年者や経験の浅い者による危険見逃し、基本ルール違反による災害、重機との接触による事故が発生しました。第三者損傷においては、過年度の教訓が活かされず、施工中の指示確認不足による地下埋設物、架空線損傷事故が発生しました。

2017年度の安全衛生方針は、『人命尊重を最優先した安全第一主義を徹底し、労働安全衛生マネジメントシステムを継続的に改善、「安全文化」を定着させる』としていきます。

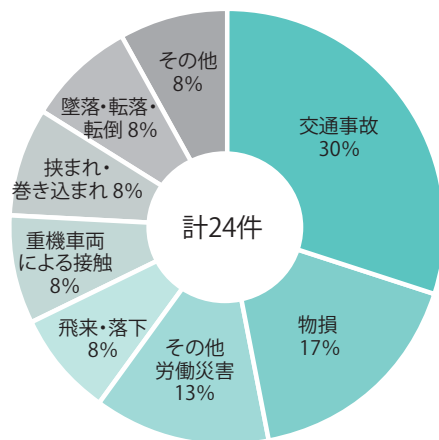
トシステムを継続的に改善、「安全文化」を定着させる』としていきます。

全員で声を掛け合って安全意識を共有するとともに、三現主義(現場・現物・現実を診る)を徹底させ、事故・災害の防止に努めてまいります。

2017年度重点実施事項

1. 職員・協力業者(高・若・浅)の教育・指導、安全施工サイクルの確実な実行による労働災害事故の撲滅
2. 地下埋・架空線等の事前・施工中確認および周知・指導の徹底による第三者損傷事故の撲滅
3. 運転中のスマホ厳禁、車内5Sの徹底による交通事故の撲滅

2016年度事故・災害発生原因の内訳



当社の事故災害発生総件数および労働災害発生度数率の推移

